

もっと知ってほしい！！ ～こだわりと情熱の笛、木工細工～



堀内 弘之さん・裕子さん

【プロフィール】

堀内弘之・裕子
京都府出身
2003年に移住

【お店紹介】

『七曜工房(ななようこうぼう)』
横笛や尺八などの本格的な笛をはじめ、
みかん笛、みかんの木のオカリナ、鳥笛、
プローチやインテリア小物など、オリジ
ナル木工品の製作・販売
営業時間：10時～17時
(平日は不定休)

「釣りが好きで海の近くで木工がしたい」という思いがあり、偶然しまみ海道を渡ってたどり着いたのが大三島でした。自分の趣味である木工細工を仕事にしたいという強い思いがありました。その実現とともに、生活をより豊かにするためミカン栽培も始めました。

大三島に来るまでは、土曜と日曜しか木工に時間を費やすことができなかつたため、一週間ずつと木工をしていたという想いが「七曜工房」という店名に込められています。木工細工の中でも数多くの笛を製作しています。楽器好きで横笛や尺八に興味があり、工夫して誰でも吹きやすいものを作ろうと思ったのが笛を作り始めたきっかけです。木工細工に用いる木は、購入した広葉樹材や栽培しているミカンの木を剪定したものなどです。店内には、いろいろな木工品が置いてあり面白いアイデアが施されています。そのアイデアを考える際に、役に立つもの、飾るだけではなく実用的なものなど、どういうものを作ろうかと思いをめぐらせて図案をスケッチブックに描いていて、その考える時間も楽しんでます。

お客さんとして、プロの笛奏者の方や台湾、中国などから外国人の方も来てくれます。テレビCMで七曜工房製の笛を使用していただいたこともあります。

大三島で大変だったことは、転居当初に自宅が台風の被害を受けたことです。七曜工房を始めてから今までの間で、笛つくりを通して音楽の様々な情報を知ることができ、お客さんといろんな話ができることに喜びを感じています。大三島に来てからは、「旅行に行かなくてもよくなった」「食べ物がおいしい」「都会では味わえない感動の毎日が味わえる」などを実感しています。大三島の好きなどころは、気候が暖かく、橋を渡ると晴れやかで、人が親切で優しく温かいところです。

【取材を通しての感想】

ご主人の趣味であった木工細工を職にすることは大変で、とても勇気があることだと思えますが、奥さん・ご主人ともに楽しそうに大三島で生活を送っているところがすごいなと思いました。

【移住を考える人へ】

生活品は高いですが、食べていく分には生活していけます。しかし、はつきりと目標を持っている人でなければ自営業をするにはうまくいかないと思います。

